

がかりただく前にご確認くださり

1. 献血可能日のご確認

献血カードをお持ちの方は、カードに印字された次回献血可能日を ラブラッド会員の方はマイページにてご確認ください。



2. 献血をご遠慮いただく場合についてのご確認

次の項目に該当される方は献血をご遠慮願います。(その他、医師の判断によりご遠慮頂く場合がございます。)



① 体調が悪い方



②当日飲酒されている方



③3 日以内に出血を伴う 歯科治療(抜歯、歯石除 去等)を受けた方



④激しい嘔吐・下痢の方 (1ヵ月以内に発熱を伴う下痢が あった方も含む)



⑤海外から帰国(入国) して4週間以内の方



⑥ロ内炎やヘルペ スのある方



⑦切り傷や動物や人などに 噛まれた、ひっかき傷等の外 傷のある方

- ⑧現在妊娠中、または出産後1年以内の授乳中の方
- ⑨6か月以内にピアス・刺青をした方
 - ※ピアスはピアッサーや医療機関であけた方は1か月経過後に献血可能
- ⑩1980 年~1996 年の間にイギリスに 31 日以上滞在した方
 - ※その他、海外に長期滞在した方は滞在国により一定期間献血出来ない場合があります
- ⑪中南米に連続して4週間以上滞在または居住し帰国後6か月以内の方
- (12) 今までに大きな病気をした方
 - ※B型肝炎、がん、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等

がんの既往がある方は、治療により根治し再発なく5年経過していること。(ただし血液のがんは不可)

- ③今までに輸血(自己血を除く)や臓器移植を受けた方
- (4)ヒト由来プラセンタ (胎盤) 注射薬を使用した事がある方
- (15梅毒、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方
- 16エイズ検査が目的の方
- ⑪6か月以内に次のいずれかに該当する方
 - 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった方
 - ・男性同士での性的接触があった方
 - ・出産、流産があった方
 - ・開胸、開腹、開頭等大手術を受けた方

インフルエンザワクチン接種やバリウム検査を含む健康診断を受けた方は 24 時間以上経過した後、ご協力 頂きますようお願い致します。

過度の空腹や睡眠不足であると思われる場合、体調を考慮して献血をご遠慮いただいております。

十分な食事と睡眠をとってから献血のご協力を頂きますようお願い致します。

3. 薬の服用と献血できない期間についてのご確認

お薬には、種類や服用期間によって献血できる場合があります。献血の際には、**お薬またはお薬手帳をお持ち 下さい**。下記には主なお薬を示しています。詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。

- (1) 当日服用していても献血できるお薬 (ただし献血者の健康状態を考慮し、献血できない場合もあります)
- ◇ ミネラル薬 (貧血治療薬を除く)
- ◆ 漢方薬 (肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く)
- ※市販の花粉症薬・アレルギー性鼻炎薬(アレグラ、アレロック、ジルテック等は献血可能)
- ◇ 高脂血症治療薬
- ◆ 胃腸薬 (感染性胃腸炎症状のある場合を除く)
- ◇ 高尿酸血症治療薬 (コルヒチン等一部献血できない場合がある)
- ◆ 低用量ピル(女性ホルモン)
- ◆ 降圧剤(血圧が安定していれば複数剤の服用でも献血可能)
- ◇ 下剤・市販緩下剤
- ◇ 前立腺肥大治療薬
- (2) 前日までの服用であれば献血できるお薬(血小板献血の場合は3日間あける)
- ◇ 風邪薬(風邪の症状がない場合)
- ◇ 睡眠薬、抗不安薬、安定剤
- (3)服用中止から3日以上経過していれば献血できるお薬
- ◇ 抗ウィルス薬
- ◇ 止痢薬 (アドソルビン、ロペミン等)
- ◇ 痛風発作治療薬(コルヒチン)
- ⇒ 喘息治療薬(発作時のβ2刺激薬、キサンチン誘導体等)
- ◇ 向精神剤(抗不安剤、安定剤を除く)

(4)献血不可

- ◇ 原疾患に関する薬(糖尿病治療薬、狭心症治療薬、抗不整脈薬、抗凝固系薬、抗腫瘍薬、他)
- ◆ チガソン、テジソン(乾癬治療薬)
- ◇ プロペシア、プロスカー等⇒1 か月献血不可
- ◇ アボダート、アボルブ、ザガーロ等⇒6か月献血不可
- ※その他にも皆様の健康状態を医師が総合的に判断し、献血をご遠慮して頂く場合があります。
- ※予防注射も種類によって献血できない期間が異なります。

(インフルエンザワクチンは 24 時間経過後、B型肝炎ワクチンは 2 週間後献血可能)



ご不明点がありましたら お気軽にお尋ねください!!

